

第五十四回卒業証書授与式及び第二十六回修了証書授与式 告辞

本日、ここに、鈴鹿工業高等専門学校第五十四回卒業証書授与式及び第二十六回修了証書授与式を執り行うにあたり、本科卒業生百八十八名の皆さん、専攻科修了生二十六名の皆さん及び教職員一同が喜びを分かち合えますことを、心から嬉しく思います。

皆さんは、学校生活の中で、もっと頑張ればよかったと反省することもあるでしょう。しかし、皆さんは、無事、本校を卒業、修了する日を迎えられました。このことを誇りにし、自信にしてください。また、ご家族の方々、先生方など、周りの人々の支えにより、このよき日を迎えることができたということを決して忘れないでください。

さて、皆さんは、これから就職、進学など多様な道を進まれます。今、日本の社会およびそれをとりまく世界が大きく変化しようとしています。このような時代にこそ、人間の真価が問われます。人間は創造性を発揮することによって、その存在価値をますます高めることができます。皆さんは、創造力を高める努力を懸命に続けてください。他の人たちが後からついてくることを信じて、誰も見たことのない新しい世界に第一歩を踏み出してください。母校は、皆さんをずっとずっと見守り続けます。

結びにあたり、卒業、修了する皆さんが、鈴鹿高専のプライドを持って、味わい深い人間に育ち、幸せな人生を送られることを、また、本校が「創造性豊かな鈴鹿高専」として、益々発展することを祈念して、私の挨拶とします。

令和二年三月十三日

鈴鹿工業高等専門学校長

林 祐司

前校長 吉田潤一先生とともに